

2023年度 ACY アーティスト・フェローシップ助成 地域滞在型プログラム
FAQ

対象者について

Q. 団体でも申請できますか？

A. できません。アーティスト個人が対象です。

Q. 年齢制限はありますか？

A. ありません。

提案内容について

Q. どのような内容を提案したらよいですか？

A. ご自身の創作活動案をご提案ください。リサーチのための宿泊費や交通費も対象経費となりますので、独自の視点をもった活動を自由にご提案ください。

Q. 公演や展覧会など、作品の発表義務はありますか？

A. 地域住民と交流する活動（公演、展覧会、ワークショップ、トークイベント等）を必ず実施してください。

Q. 滞在は必ずしないといけないですか？

A. はい、最短6泊7日の滞在中をしていただきます。滞在中は、地域住民との交流を含め、風景・歴史・食など、地域文化に触れていただくと幸いです。

Q. 地域住民と交流する活動とはどのようなことですか？

A. 公演、展覧会、ワークショップ、トークイベントなどの活動です。

Q. 地域住民と交流する活動は滞在中に行う必要はありますか？

A. 必ずしも滞在中でなくてもかまいません。滞在中に実施会場を探し、その数か月後に開催しても問題ありません。

助成金について

Q. 滞在中の飲食費は対象になりますか？

A. なりません。滞在中の交際費、接待費、飲食費、諸給与、事務所維持費、生活費も対象外です。

Q. 地域住民と交流する活動に関して、制作費は支給されますか？

A. 助成金以外に別途支給はありません。

Q. 地域との交流プログラム以外の、公演に助成金を使っても大丈夫ですか？

A. 対象経費であれば、使用可能です。

Q. 滞在拠点に長期滞在し、拠点使用料と宿泊費に助成金をすべて使用してもよいですか？

A. 滞在の日程は、採択後に滞在拠点と調整が必要ですが、申請時にはご提案いただけます。

サポート内容について

Q. どのようなサポートが受けられますか？

A. 滞在中をはじめとした活動の支援や、人材の紹介。また、活動の広報をサポートします。

Q. 記録冊子はどのような内容ですか？

A. 滞在や住民との交流事業の風景、また専門家によるレビューの掲載を予定しています。

滞在について

Q. 滞在拠点は希望がだせますか？

A. 採択決定後に ACY と面談にて希望は承りますが、必ずしも希望の滞在拠点に滞在できるとは限りません。

Q. 6泊7日以上の滞在は可能ですか？

A. 滞在拠点との調整により可能です。申請書内にてご提案ください。

Q. 滞在中はどこに宿泊すればよいですか？

A. 滞在拠点付近にて宿泊いただきます。宿泊手配は ACY が行います。